

福井市夜間景観ガイドラインについて



# 夜間景観ガイドラインの概要

# 夜間景観ガイドライン策定の背景、目的

策定時期 平成20年7月

## 背景・期待

- 福井市景観基本計画内で景観形成の方針の1つとして「魅力ある夜間景観の創出」が掲げられている
- ライトアップやイルミネーション等の自主的な取り組みが増えてきた
- ライフスタイルが変化し、夜間の外出機会が増大していた
- 新しく整備されたJR福井駅



良好な夜間景観を形成し市民・来訪者の夜間の外出機会や滞在時間を増やし、何度も訪れたいと思えるような魅力ある夜間景観を形成することが必要

## 対象範囲

基本的な方針	『福井市全体』
具体的な整備イメージ	『福井都心地区』

## 目 的

### ○福井の個性を活かした夜間の魅力創出のあり方を示す

福井固有の景観資源を活かしながらより魅力的な夜間景観の創出を図るため、夜間景観の形成に関する基本的な方針や考え方を示すとともに、日常・非日常を含めた光の整備・演出のあり方を示すことを目的としている。

### ○市民が快適に暮らせるための夜間の光のあり方を示す

安全で快適、楽しみながら歩ける歩行者空間を形成するとともに、地域全体の夜間の快適性を高めるための光の創出のあり方を示すことを目的としている

### ○住環境及び自然環境にやさしい光のあり方を示す

光害の防止や自然環境への負荷の軽減を図るため、環境にやさしい適切な光のあり方を示すことを目的としている。

### 『魅力ある夜間景観の創出』（景観基本計画における基本方針の1つ）

#### 夜間景観ガイドラインの基本方針

- 福井都心地区の賑わいと回遊性を高める夜間景観の創造
  - ・ 界限ごとの雰囲気を楽しむ夜間景観の演出
  - ・ 魅力ある夜間景観を楽しむ回遊の道づくり
  
- 市民が誇りと愛着をもてる夜間景観の演出
  - ・ 夜間景観を楽しむ視点場づくり
  - ・ 地域の個性を活かした魅力ある夜間景観の向上
  - ・ 市民や事業者との協働による夜間景観づくり
  
- 安全・安心な暮らしを支える夜間照明の確保
  - ・ 光害等の防止
  - ・ 環境にやさしい光のまち
  - ・ 安全・安心な夜間居住環境の形成

# 夜間景観の例（現ガイドライン作成時：抜粋）



旧福井駅西口



旧福井駅西口



AOSSA



旧福井銀行



旧織協ビル



大名町交差点

夜間景観の例（現ガイドライン作成時：抜粋）



文化会館



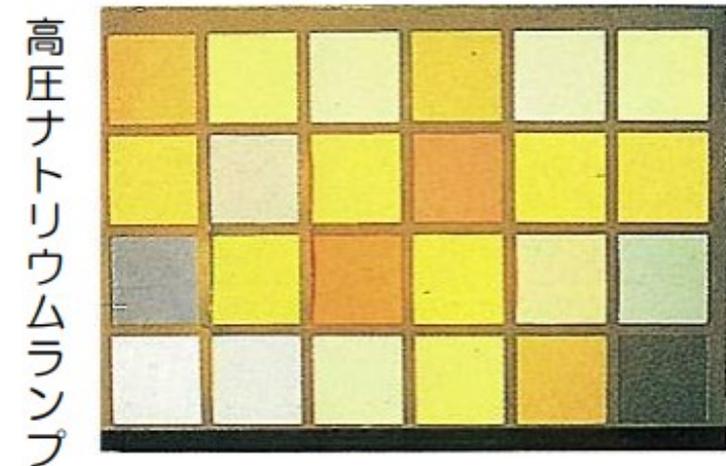
ユアーズホテル

# 照明に関する基礎知識（抜粋）

通路、広場、公園の照度基準値

場 所		照 度 (lx)
通路 (地上)	アーケード、商店街 (繁華) *1	200~750
	アーケード、商店街 (一般) *1	100~300
	商店街 (繁華)	30~100
	商店街 (一般)	10~50
	市街地	5~30
	住宅地	1~10
交通関係広場	駅前広場、空港広場 (交通量大)	10~75
	駅前広場 (一般)	2~30
公 園	主な場所	5~30
	その他の場所	1~10

○照度に関する説明



○演色性に関する説明

## 福井都心地区整備イメージ



- 福井市基本計画の位置づけ  
「もっとも福井らしさを実感できる場所」
- 当地区の一部は  
「特定景観計画区域」に指定されている
- 商業、業務、行政、観光、交流機能をはじめとする多様な都市機能や景観資源が集積し多くの人が訪れる場所
- 建築物の更新が進んでいる場所



魅力ある夜間景観を演出するために「光」を計画的に誘導すべき地区であるため整備イメージを用意

# 福井都心地区整備イメージ（抜粋）



## テーマ

新たな交流と出逢いを生む、おもてなしの玄関口

## <基本方針>

○福井を訪れた人をやさしく迎え入れ、良好な都市イメージを印象づけるため、JR福井駅を中心として、統一感のある夜間景観を形成する

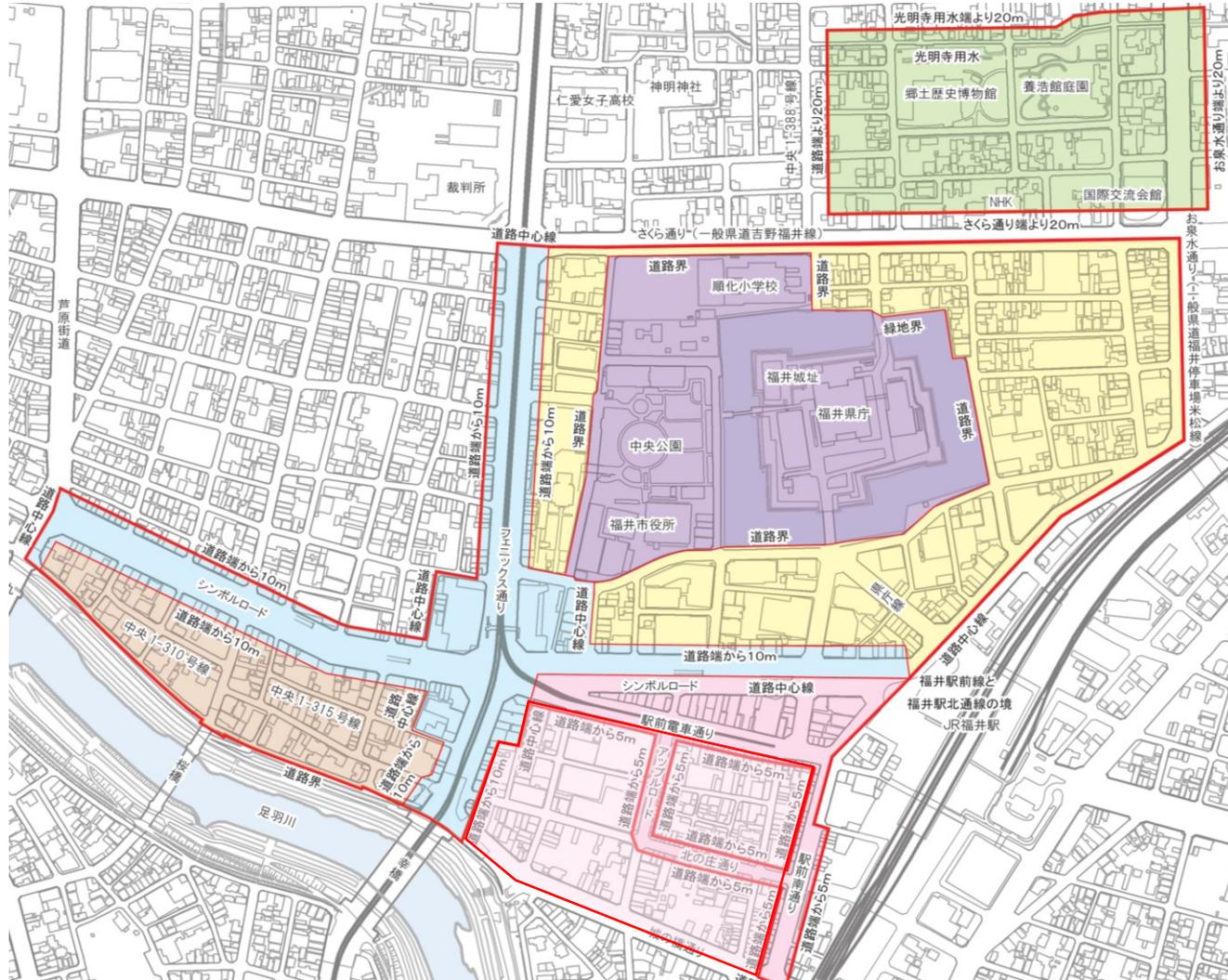
○単なる交通結節点ではなく、人が自然に集まり、新たな交流や出逢いが生まれるような魅力的な広場空間とともに、駅前広場などの公共空間と周囲の建築物等が一体となって、都会的でセンスの良い夜間景観を形成する。



都心地区エリアに関して、  
同形式の整備イメージが10エリア分記載

# 福井市中心市街地の開発状況について

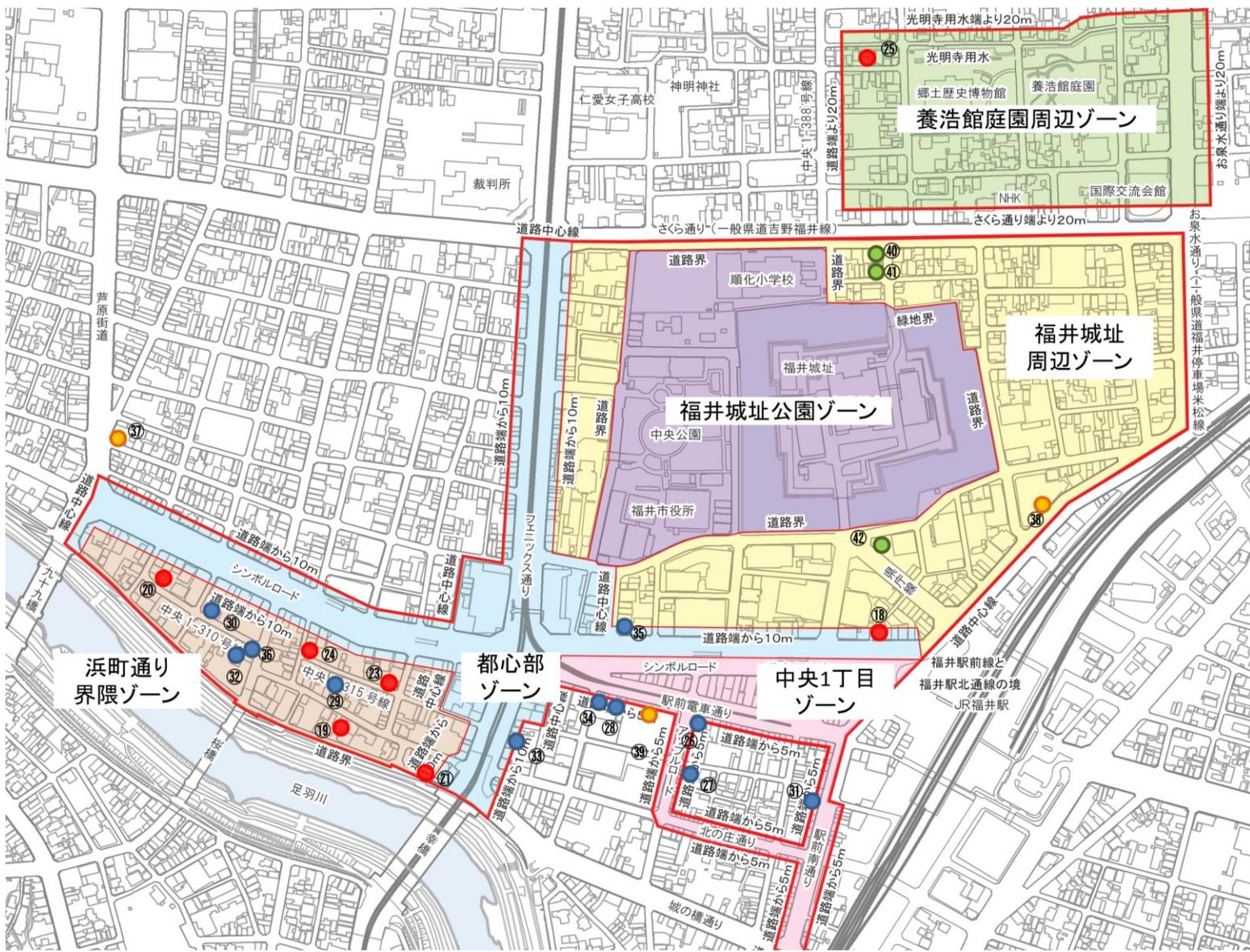
# 開発状況 景観届出実績（福井都心地区特定景観計画区域+中央1丁目）



色塗り部分における、  
建築物に関する景観の届出件数（新築、増築、塗替え等）

R6	R5	R4	R3	R2	H3 1
7	10	5	8	8	8

# 開発状況 景観まちづくり事業 ハード支援実績 (H22~R6 : 26件)

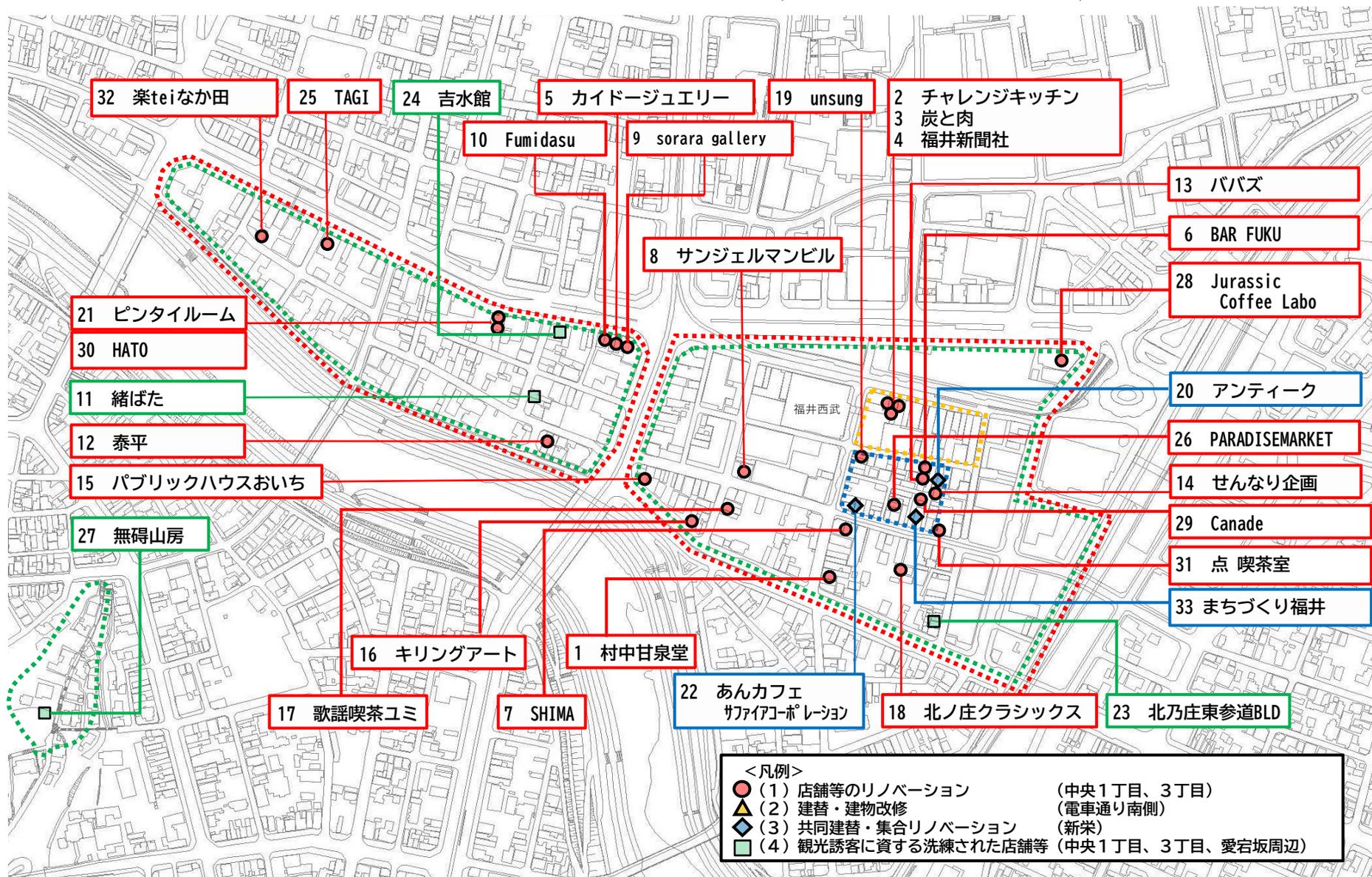


景観形成助成制度	番号	年度	内容	助成額 (千円)	建物
	⑮	H22	外観の修繕、特定照明、屋上設備の隠蔽	904	プラザホテル
	⑯	H22	外観の修繕、庇の新設	1,820	料亭 山楽
	⑰	H23	外観の修繕(1階部分)	205	料亭 匠さし
	⑱	H23	新築の外観、植栽	412	住宅(蓮浦宅)
	⑳	H24	認定団体によるオープンスペースの改良整備(地蔵上屋立替、上屋周辺雑木伐採・紅葉植樹)	1,000	西新町 鼻欠地蔵上屋 ※団体に対する助成
	㉑	H25	外観の修繕、植栽、特定照明、附帯設備の隠蔽	753	かつぎ
㉒	H26	新築の外観、外構の緑化、塀の新築、特定照明、広告物の改善	1,454	浜町安文酒店	
㉓	H26	新築の外観	388	住宅(津田宅)	

県都の顔づくり事業	美しいまちづくりの地域住民等による	番号	年度	内容	助成額 (千円)	建物
		㉔	H27	外観の修繕、照明	2,000	フルーツのウメダ
		㉕	H27	外観の修繕、照明	680	正午堂
		㉖	H27	外観の修繕	650	福洋
		㉗	H28	新築の外観、照明、植栽	5,000	一乃松
		㉘	H28	外観の修繕、照明、植栽	1,380	CraftBuilding浜町
	㉙	H28	外観の修繕、照明	1,230	青木歯科	
	㉚	H29	新築の外観、照明、植栽	2,342	住宅(清水宅)	
	㉛	H30	塀の設置、駐車場舗装仕上げ	123	仙田竜	
	㉜	R元	外観の修繕、照明	1,015	田中眼鏡	
㉝	R2	新築の外観、照明、植栽	2,178	アクシス大手町		
㉞	R3	外観の修繕、照明、植栽	1,992	浜町ビル		
㉟	H29	寄合カフェ整備	2,000	(住宅)清水康江		
㊱	H30	ランドリーカフェ整備	1,807	アイサーブ		
㊲	R2	賑わい広場整備	10,000	西武福井店		

景観まちづくり事業	番号	年度	内容	助成額 (千円)	建物
	㊳	R4	外観の整備、照明	1,610	木村ビル
	㊴	R4	外観の整備、照明、植栽	2,595	呉服の佐々木
㊵	R5	外観の整備、照明、植栽	3,000	美術館(日野メカニカル)	

# 開発状況 県都まちなか再生ファンド支援実績 (R4~6 : 33件)



# 夜間景観ガイドラインの改正について

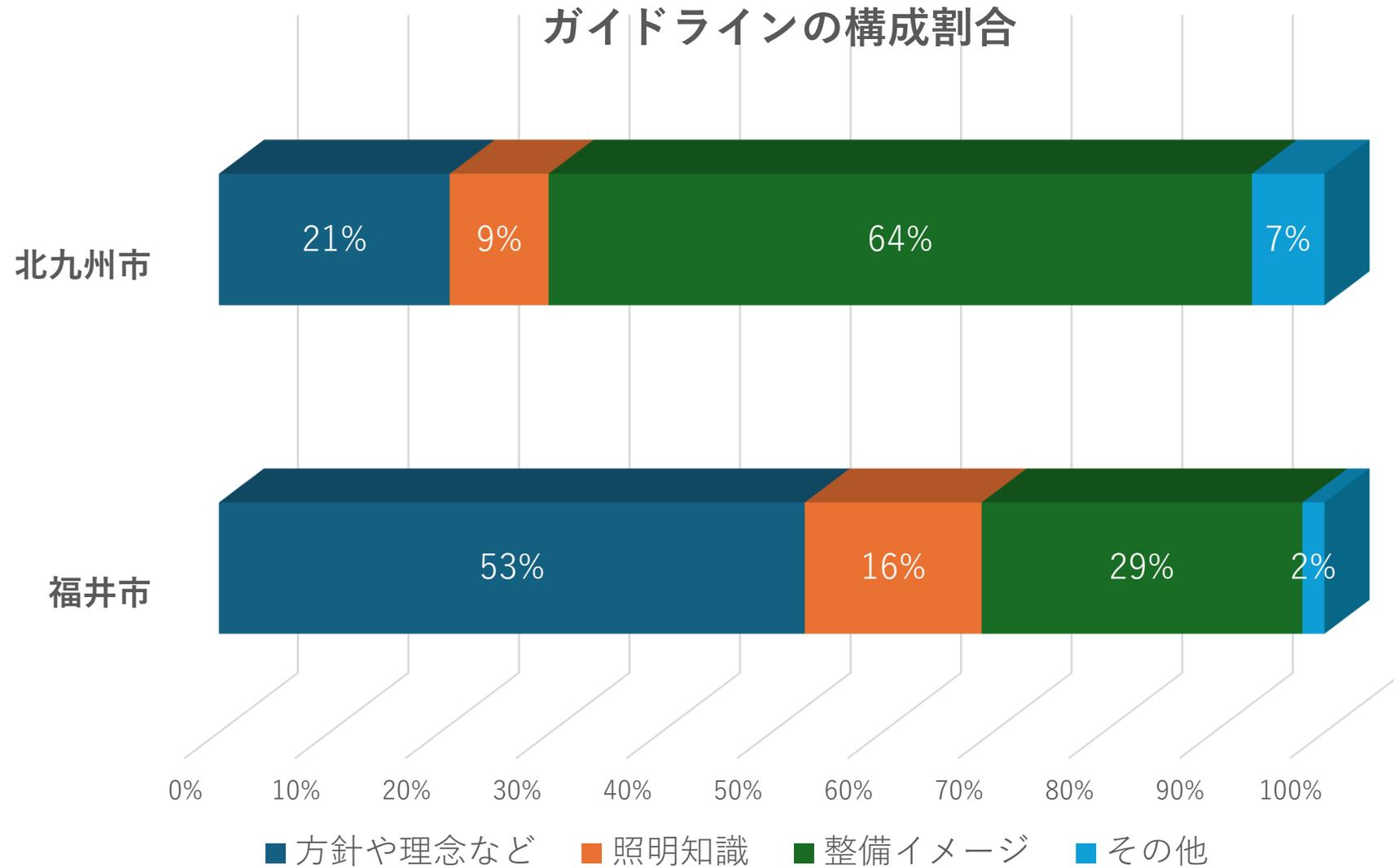
## 改正の必要性

北陸新幹線福井開業の効果を最大化し継続させていくためにも、良好な夜間景観を形成し都市の魅力を高めることが重要である。そのためには行政のみならず、民間の力が必要であり、多くの開発が進むこの機会を活かすために、みんなが利用しやすい夜間景観ガイドラインが必要であると考える。

現状のガイドラインは行政による実施を想定した構成であるため、改正にあたっては民間活用の後押しとなるように以下の変更を加えたい。

- ①**全体の構成** 方針や理念の説明を簡略化し、整備イメージが伝わる情報の量を増やす。
- ②**視覚的な情報** 具体的な整備のイメージや照明の活用方法などが、一目で伝わるように、写真や図を効果的に使用する。
- ③**資料の更新** 現況の写真や照明の技術革新等の情報の更新を行う。

## 改正のポイント 全体構成



参考：北九州市小倉都心地区夜間景観ガイドライン

# 改正のポイント 視覚的な情報



○整備イメージ

通路、広場、公園の照度基準値

場 所		照 度 (lx)
通路 (地上)	アーケード、商店街 (繁華) *1	200~750
	アーケード、商店街 (一般) *1	100~300
	商店街 (繁華)	30~100
	商店街 (一般)	10~50
	市街地	5~30
	住宅地	1~10
交通関係広場	駅前広場、空港広場 (交通量大)	10~75
	駅前広場 (一般)	2~30
公 園	主な場所	5~30
	その他の場所	1~10

○照度に関する説明

# 改正のポイント 資料の更新



旧福井駅西口



旧福井駅西口



AOSSA



旧福井銀行



旧織協ビル



大名町交差点

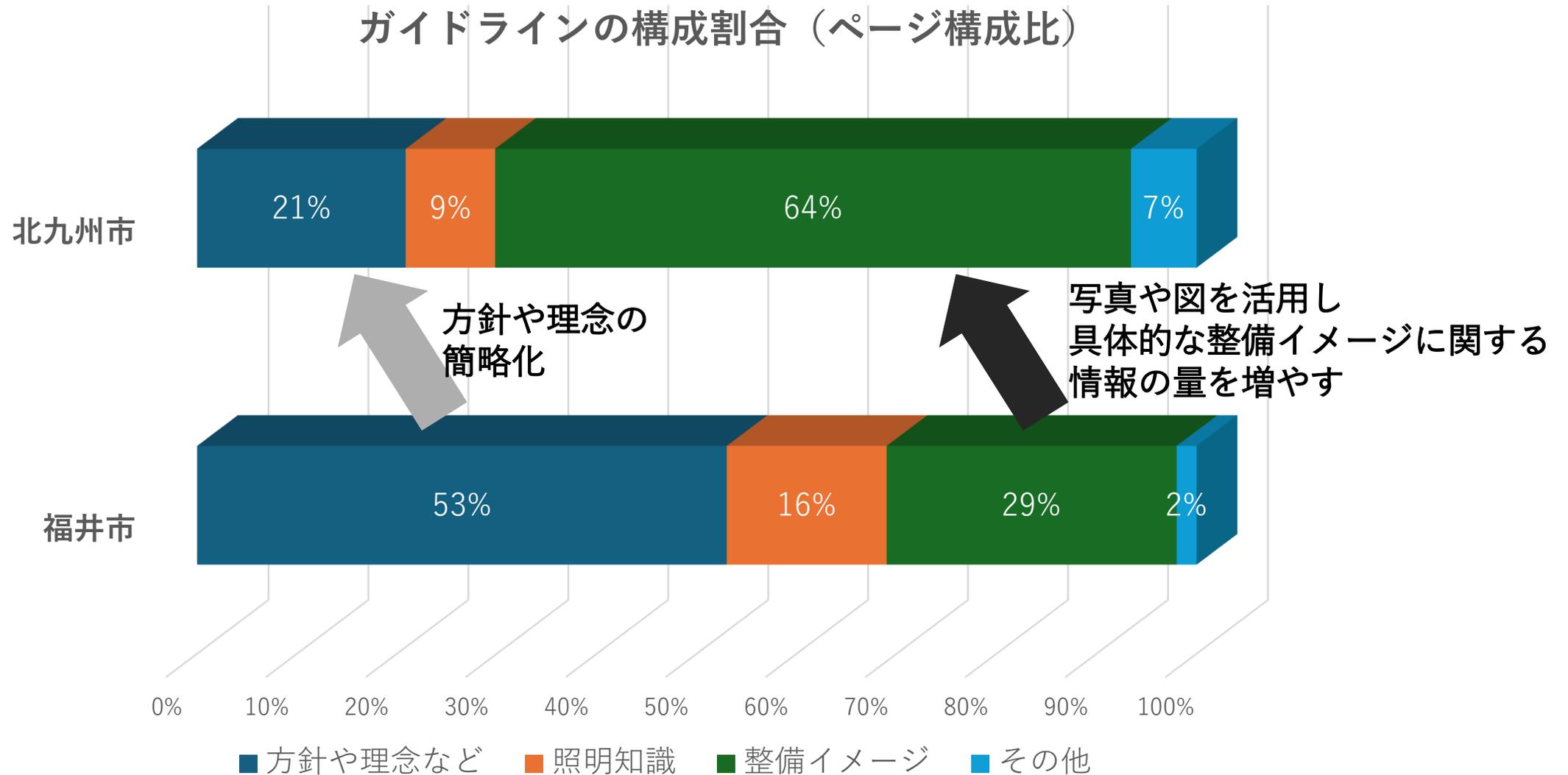
# 夜間景観ガイドラインの改正イメージ（案）

## 改定イメージ（案）



参考：北九州市小倉都心地区夜間景観ガイドライン

# 改定イメージ（案）



参考：北九州市小倉都心地区夜間景観ガイドライン

# 改定イメージ (案)

## 第4章 ケーススタディ

### 4-3 晴外通り

#### 魅力ある夜間景観形成の視点

- ・通りの幅員に合った照明の高さ設定
- ・通りの個性の演出
- ・通りの入り口のわかりやすさ
- ・回遊性を高めるような照明演出
- ・沿線施設の夜間景観づくりへの積極的な参加



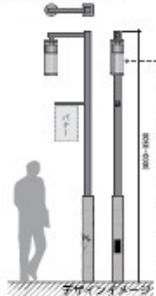
#### 人の流れをつくるあかり 歴史と語らいの繁華街

明治の文豪、新橋外が遺した旧態が残る晴外通り。多くの飲食店が軒を連ね、夜も多くの人が行き交う通りで、個性とにぎわいを創出する光環境を演出します。城下町の町割りの面影を感じさせる、シンプルで日本的な照明デザインや、通りの幅員に合ったヒューマンスケールの高さを抑えた光で、通りの連続的なつながりと、陰影のある、敏懐したくなるような空間を描いています。

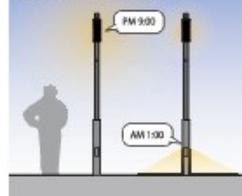
#### <照明デザインポイント>

- ・街路灯は通りの幅員に対して適切な高さを設定
- ・適度な輝度感のある街路灯を連続させて通りのつながりとにぎわいを演出
- ・歩行者を優先した回遊性を高める光環境を創出
- ・街路灯の意匠を統一することで通りの一体感を創出
- ・入口や交差点などに光を配置して通りをつなぐ結節点を創出
- ・お寺や史跡、民間施設など夜間景観への積極的な参加

#### 街路灯のデザイン



#### 時間帯により変化する光



時間帯に応じて光を使い分けることで機能面と演出面の調度なバランスを保ちます

<朝又は夕>街路灯の灯具には小糸球をイメージした球殻をあしらいました

周囲の景観と調和した街路灯デザインは、個性的な通りのイメージづくりをすることができます。



通りの魅力ある夜間景観をつくるためには、沿線の様々な施設が一緒に取り組むことで大きな効果が生まれます。閉店後も内部の光を一部残すことで、店舗などのPRにつながることも、通りの防犯効果を高め歩行者に安心感を与えることができます。



照明による、良好な夜間景観のイメージが一目で分かる。

お寺や史跡など歴史ある建築物の歴史を素早く照らすと、陰影のある情緒的な光景を創出できます。

公共空間内で、安全や防犯の観点から、必要な照度や均整度などの基準に沿って照明を整備する「機能照明」。そこに、人の流れや行動、雰囲気などを考えて、照明を配する「演出照明」の手法を取り入れると、人々に親しまれる夜間景観を創出することができます。

# 改定イメージ (案)

## 第4章 ケーススタディ

### 4-3 鷗外通り

#### 魅力ある夜間景観形成の視点

- ・通りの幅員に合った照明の高さ設定
- ・通りの個性の演出
- ・通りの入り口のわかりやすさ
- ・回遊性を高めるような照明演出
- ・沿線施設の夜間景観づくりへの積極的な参加



#### 人の流れをつくるあかり 歴史と語らいの繁華街

明治の文豪、森鷗外が過ごした旧居が残る鷗外通り。  
多くの飲食店が軒を連ね、夜も多くの人が行き交う通りで、個性とにぎわいを創出する光環境を演出します。城下町の町割りの面影を感じさせる、シンプルで日本的な照明灯デザインや、通りの幅員に合ったヒューマン

夜間景観のイメージ写真の隣に現状写真があることで照明の効果を実感しやすい。



## 改定イメージ（案）

照明を活用するポイントがあわせて記載されており、理解しやすい。



### 人の流れをつくるあかり 歴史と語らいの繁華街

明治の文豪、森鷗外が過ごした旧居が残る踏外通り。  
多くの飲食店が軒を連ね、夜も多くの人が行き交う通りで、個性とにぎわいを創出する光環境を演出します。城下町の町割りの面影を感じさせる、シンプルで日本的な照明灯デザインや、通りの幅員に合ったヒューマンスケールの高さを抑えた光で、通りの連続的なつながりと、陰影のある、散策したくなるような空間を描いています。

#### <照明デザインポイント>

- ・街路灯は通りの幅員に対して適切な高さを設定
- ・適度な輝度感のある街路灯を連続させて通りにつながりとにぎわいを演出
- ・歩行者を優先した回遊性を高める光環境を創出
- ・街路灯の意匠を統一することで通りの一体感を創出
- ・入口や交差点などに光を配置して通りをつなぐ結節点を創出
- ・お寺や史跡、民間施設など夜間景観への積極的な参加



# 改定スケジュール (案)

